

# 財団法人マツダ財団 平成 22(2010)年度 事業計画書 (平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)

- ◆ マツダ財団の設立趣旨に沿った社会貢献活動を行い、マツダ財団の存在価値を高める。
- ◆ 「09 中期事業計画」に沿った事業変革を着実に進める。

当事業年度は、科学技術振興分野では、萌芽的研究および若手研究者の育成のための支援を強化し、青少年健全育成分野では、市民活動支援および市民活動の活性化に寄与する実践的な研究に対する支援を強化する。これらの支援強化を含め、その活動に際しては、先見性・独創性を常に念頭に置き助成効果をより向上させる。財団運営面では、公益法人制度改革への対応を的確に行い、公益認定申請を行う。

助成金等総額は、低金利の続く現況下での資産運用は厳しく、前年度並の 5, 170 万円とする。

## I. 科学技術振興関係事業

### 1. 研究助成

機械、電子・情報、材料の 3 分野について、先進性・独創性に優れた基礎研究および応用研究に対し助成を行う。また、若手研究者、萌芽的研究、循環・省資源への重点助成とする。

- |                |                                  |
|----------------|----------------------------------|
| (1) 助成対象研究分野   | ① 機械 ② 電子・情報 ③ 化学系材料 ④ 物理系材料     |
| (2) 助成金総額・件数   | 3, 000 万円、25 件程度                 |
| (3) 1 件当たり助成金額 | 上限 200 万円                        |
| (4) 助成期間       | 1 年または 2 年                       |
| (5) 募集方法・募集期間  | 公募・推薦方式、2010 年 4 月下旬～同年 6 月 10 日 |
| (6) 選考方法       | 選考委員会による審査・選考                    |

### 2. 科学わくわくプロジェクト

広島大学と協力して、科学にわくわくする子どもの心を育てるための「科学わくわくプロジェクト」(わくプロ)事業を実施する。今年度は、以下の 5 事業を実施する。

- (1) 「サイエンスレクチャー」～主に中学生を対象とし、広島大学で行っている最先端科学の研究に関する科学体験講座。

#### ① 広島会場

- ・実施時期：2010 年 8 月
- ・実施場所：広島市こども文化科学館
- ・参加者：100 人
- ・募集方法：公募
- ・テーマ：未定
- ・講師：未定
- ・予算額：40 万円

#### ② 尾道会場

- ・実施時期：2010 年 12 月
- ・実施場所：尾道市内
- ・参加者：50 人
- ・募集方法：公募
- ・テーマ：未定
- ・講師：未定
- ・予算額：20 万円

- (2) 「ジュニア科学塾」～中学生を対象に、科学に関する幅広い内容を発展的、継続的に学習する演習講座。実験・観察実習を行うとともに、広島大学の最先端の設備を活用して、ハイレベルな科学体験の場を提供する。

- ・実施時期：2010 年 5 月～2011 年 2 月、5 回実施
- ・実施場所：広島大学附属東雲中学校他
- ・参加者：24 人
- ・募集方法：公募

・テーマ：未定                      ・講師：古賀 信吉 広島大学大学院教育学研究科教授 他

・予算額：130万円

(3) 「科学塾研究室」～わくプロジュニア科学塾などの科学体験を通じて育成した生徒の興味関心に応じた、高度な科学内容の研究を、個別または少人数グループで行う研究講座。広島大学の研究室に所属し、最先端の設備や指導者のもとで高度な研究を体験させる。

・実施時期：2010年5月～2010年11月                      ・実施場所：広島大学

・募集方法：公募                      ・開設講座：未定（6講座を限度とする。）                      ・講師：未定

・予算額：80万円

(4) 「小学校の先生のための理科ひろば」～小学校の先生に対して、子ども達が強く関心を示すような楽しくためになる理科の実験授業について、当プロジェクトの研究者等が学校に出向いて模擬授業を行い提案する。

・実施時期：2010年5月以降                      ・実施場所：未定

・予算額：20万円

(5) その他

① わくプロ研究交流会、ワーキンググループ会議～当プロジェクトの成果および課題等について検討する。各事業の成果や課題が次年度へ確実に活かされる体制を整える。

・わくプロ研究交流会：2010年5月、2011年1月開催予定

・ワーキンググループ会議：事業ごとに開催する。

・予算額：10万円

② わくプロホームページの運営、報告書の作成等

・わくプロホームページの運営－募集活動、タイムリーな情報発信

・事業執行体制の強化－コーディネーター、専従事務補佐員の雇用

・予算額：150万円

(6) 予算総額：450万円

### 3. 事業助成

「科学わくわくプロジェクト」の趣旨に沿った科学体験事業への助成を行う。

(1) 助成対象分野                      中国地方で開催される小中高の生徒を対象とした「科学体験」に関する研究会等を支援する。

(2) 助成対象地域                      中国地方

(3) 助成金総額・件数                      **150万円、15件**

(4) 1件当たり支援金額                      10万円

(5) 募集方法・募集期間                      公募・推薦方式

前期募集：2010年4月～同年5月上旬

後期募集：2010年7月～同年7月下旬

(6) 選考方法                      選考委員会による審査・選考

### 4. 調査研究

・研究助成・事業助成について、応募者アンケート調査および有識者ヒアリング調査。

・予算額                      **10万円**

## II. 青少年健全育成関係事業

### 1. 研究助成

市民活動との連携強化を図り、市民活動の活性化に寄与する実践的な研究に対する助成を行う。

- |               |   |
|---------------|---|
| (1) 助成対象分野    | ・青少年をとりまく環境 ・コミュニティづくり<br>・ボランティア育成 ・科学体験 |
| (2) 助成金総額・件数  | <b>400万円、4～5件程度</b>                       |
| (3) 助成期間      | 1年または2年                                   |
| (4) 募集方法・募集期間 | 公募・推薦方式、2010年4月下旬～同年6月30日                 |
| (5) 選考方法      | 選考委員会による審査・選考                             |

### 2. 市民活動支援

青少年健全育成のための地域に密着した活動を支援する。今年度の応募は92件で、活動への意欲・斬新性、社会的要請度、支援効果等多方面から審議され、31件が決定された。

- |               |   |
|---------------|---|
| (1) 助成対象分野    | ①自然とのふれあい ②ボランティア育成 ③地域連帯<br>④エコ ⑤国際交流・協力 ⑥科学体験・ものづくり |
| (2) 支援対象地域    | 広島県、山口県   |
| (3) 支援金総額・件数  | <b>800万円、31件</b>                                      |
| (4) 1件当たり支援金額 | 10～50万円   |
| (5) 支援期間      | 1年  |
| (6) 募集方法・募集期間 | 公募・推薦方式<br>2009年10月14日～2010年1月14日                     |
| (7) 選考方法      | 選考委員会による審査・選考   |

### 3. 感動塾・みちくさ

3施設の特性を活かした事業を実施する。

- |           |   |
|-----------|---|
| (1) 共同事業  | (財)広島市ひと・まちネットワーク、(株)損害保険ジャパンとの共催                                     |
| (2) 支援・人数 | 広島市およびその周辺在住の小学校3年～6年・約150人   |
| (3) 期間    | 2010年8月～10月 2泊3日  |
| (4) 場所    | (財)広島市ひと・まちネットワークの青少年活動施設<br>・青少年野外活動センター<br>・三滝少年自然の家<br>・似島臨海少年自然の家 |
| (5) 募集方法  | 公募(応募多数の場合は抽選)  |
| (6) 予算額   | <b>100万円</b>  |

### 4. 講演会

青少年健全育成の啓発を目的とする講演会を開催する。

- |          |               |
|----------|---------------|
| (1) 開催場所 | 広島市内のホール <予定> |
| (2) 開催時期 | 2010年11月 <予定> |

- |           |                |
|-----------|----------------|
| (3) 講師・演題 | 未定             |
| (4) 募集方法  | 公募(応募多数の場合は抽選) |
| (5) 予算額   | 200万円          |

## 5. 大学寄付講義等

「柔らかな社会」「地球の有限性」「人類愛」「国際化・グローバル化」をキーワードとして社会貢献・地域貢献を目的に人材・ノウハウ・コンセプト等を総合助成する。

今年度は1大学で実施する。

- |            |  |               |
|------------|--|---------------|
| (1) 対象・方法  | 県立広島大学(単位互換科目)                             | 集中講義+ボランティア実践 |
| (2) 実施時期   | 2010年5月～9月                                 |               |
| (3) 本財団の役割 | ① 講義内容の企画・立案<br>② 講師団の編成、派遣、紹介<br>③ 諸経費の負担 |               |
| (4) 予算額    | 20万円                                       |               |

\*以上の他、広島大学大学院「コミュニケーション能力開発特別講義(ディベート演習)」、県立広島大学「インターンシップ実習・ビジネスマナー講座」等へ講師派遣を行う。

## 6. 調査・研究

- ・ NPOとの連携事業、留学生支援事業、社会貢献活動のあり方等の調査・研究。
- ・ 予算額 40万円